亀田ニュース

2021
No.955
2月1日号

●〒296-8602 千葉県鴨川市東町929　●TEL04(7092)2211㈹　●発行責任者 亀田隆明　●作成 広報企画室　●毎月1日・15日発行

《対策強化中》院内感染対策にご協力を

国の緊急事態宣言を受けて，当院での感染対策を下記のとおり強化しています。大変ご不便をお掛けいたしますが，ご入院中の患者さまの安全を守るための対策です。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

《面会について》

現在，**面会を原則禁止**とさせていただいています。病棟・病室以外のロビーやラウンジ，レストランなどパブリックスペースでの面会も同様に原則禁止となります。

ただし，（手術説明や入退院時など）病院が必要と判断した場合は，面会をお願いすることがあります。その場合は，原則1名（状況により調整）で，熱・咳（せき）・下痢・嘔吐などの症状がない方，新型コロナウイルスの濃厚接触者ではない方，面会日より2週間以内に海外渡航歴のない方に限ります。ご面会の際は，Kタワー1階のインフォメーションで検温と体調確認にご協力ください。

なお，荷物や着替えの受け渡しについては，Kタワー1階のインフォメーションで検温と体調確認を受けていただいた上で，入院病棟の入口までお越しください。病棟スタッフが患者さまに代わって荷物をお預かりし，病室へお届けいたします。ただし，検温の結果37.5度以上あった場合は，Kタワー1階インフォメーションで荷物をお預かりいたします。

そのほか，産科，新生児科，小児科病棟の面会については以下ページをご確認ください。

http://www.kameda.com/pr/infection_control/post_3.html

レストラン亀楽亭よりお知らせ

亀田総合病院Kタワー13階の「レストラン亀楽亭」では，緊急事態宣言を受け，当面の間，営業時間を下記のとおりとさせていただいています。

利用者の皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますが，何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

■営業時間　11:00～19:00
（ラストオーダー18:30）

■定 休 日　日曜日・祝日

自宅で過ごす患者さまの作品展のご案内

過去の展示の様子

2月10日（水）から，「第9回 自宅で過ごす患者さまの作品展」を亀田クリニック1階ロビーにて開催いたします。

この作品展は，当院地域医療支援部が2012年から取り組んでいるもので，工夫しながら趣味を楽しむ療養患者さまたちの絵画，手芸，短歌等の作品を多数お預かりし，前半・後半の2回に分けてご紹介いたします。ぜひ，外来受診などで当院にお越しの際はご覧ください。

■期間：前半展示 2/10（水）～3/8（月）
後半展示 3/10（水）～4/12（月）
※日曜・祝日休館

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FMラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組『it!!（イット）』では，毎週火曜日午後3時から，当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナー（約10分）が好評放送中です。

先月に引き続き，2月も感染症科部長の細川直登医師が出演し，新型コロナウイルス感染症の予防についてお話いたします。ぜひ，お聴きください。

新型コロナウイルス感染者発生と対応について

【経緯】

1月12日，亀田総合病院の一般病棟に入院していた患者さま1名が新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

【院内対応】

直ちに安房保健所に連絡し，当院新型コロナウイルス感染症対策本部の指示のもと，濃厚接触者の評価を行っています。入院患者，当院職員の接触者に対し，PCR検査を実施し全員の陰性を確認しています。感染者との濃厚接触者に対しては，最終接触から14日間の健康観察を行います。

地域の基幹病院である亀田総合病院・亀田クリニックともに，通常診療を継続いたします。

（2021年1月20日現在の情報です）

アレルギー性鼻炎（花粉症）の治療

耳鼻咽喉科　岡本拓也

今年もスギ花粉の飛散シーズンが始まろうとしています。アレルギー性鼻炎のうち，スギやヒノキなどの植物の花粉が原因で生じるものを「花粉症」と呼びますが，近年，花粉症の患者さまは増え続けており，現在では日本人のおよそ5人に2人が花粉症だと言われています。日本では特にスギ花粉症が多く，国民病とも称されています。

Q.どんな症状が出るの？

くしゃみ，鼻水，鼻づまりが3症状として有名ですが，これらの症状が1日中続くことにより，様々な悪影響があります。

まず，集中力が低下し，学習効率や労働生産性が低下することが挙げられます。イライラや倦怠感，疲労感も感じやすくなります。他に，鼻水がのどに流れてくることにより咳（せき），痰（たん），咽頭の違和感を生じ，鼻がつまることにより匂いがわかりづらくなり，睡眠の質も低下します。

このような症状により花粉症は人々のQOL（生活の質）を著しく障害していると言えます。

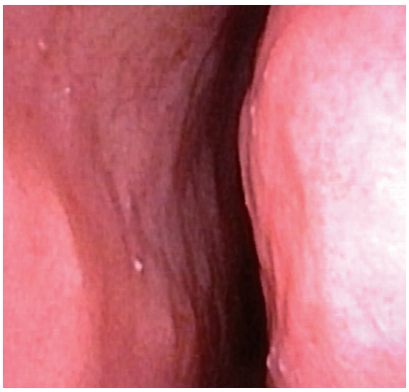
Q.花粉症はどうして起こるの？

私たちの身体には免疫機能が備わっており，体内に侵入してきた異物や病原体を排除しようとする働きがあります。この免疫システムが身体にとって無害な物質に対しても過剰に働いてしまうことを「アレルギー反応」といいます。

具体的には，花粉が体内に侵入すると，身体はそれを異物と認識して，花粉に対する抗体が作られます。体内に侵入する花粉の量が増えるほど，作られる抗体も増えていきます。抗体の蓄積量があるレベルに達することが花粉症発病のきっかけとなり，次に花粉が入ってきた時に過剰に反応するようになります。異物である花粉から身体を守るために，「くしゃみ」で掃き出し，「鼻水」で洗い流し，「鼻づまり」で進入を防ぐ…といった具合に花粉症の症状を起こします。

Q.花粉症をどうやって診断するの？

鼻の粘膜の腫れ具合や色調を診察し，典型的な粘膜所見であれば，症状と合わせてアレルギー性鼻炎と診断してもよいとされていますが，何に対するアレルギーなのかを調べる上でも通常は血液検査などにより抗体検査を行います。



正常な鼻粘膜の所見（当院耳鼻科医師の鼻粘膜）：粘膜の腫れはなく空気の通り道が確保されています。内視鏡の光の反射で白く見える部分もありますが，色調は全体的にピンク色です。

アレルギー性鼻炎の典型的な鼻粘膜の所見（日本耳鼻咽喉科学会のHPより引用）：粘膜が腫れ空気の通り道が塞がっています。色調は白色がかっており，水っぽい鼻水も見られます。

次回は，花粉症の治療についてご紹介します。

医師紹介

寺尾（てらお）　俊紀（としき）医師

［①担当科目
②診療における得意分野
③趣　味
④ひと言］

①血液・腫瘍内科
②血液内科
③ソフトテニス，映画（洋画），犬
④誠心誠意取り組んでいく所存です。
患者さまを第一に考え，努力します。どうぞよろしくお願い致します